

消化管粘膜血管異形成の病態に関する後ろ向き検討

京都府立医科大学消化器内科では、消化管粘膜血管異形成の患者様の病態における後ろ向き調査に関する研究を京都府の多施設と共同して実施いたします。この研究計画は京都府立医科大学医学倫理審査委員会の承認を得ており、実施について京都府立医科大学学長の許可を受けています。また、共同研究機関においても倫理審査委員会の承認を受けています。

1 研究の目的

近年、高齢化や、血液を固まりにくくするお薬を内服する方が増えていることに伴い、消化管出血が増えています。消化管出血の原因の1つに、消化管粘膜に易出血性の血管異形成という異常血管が形成されることがあり、小腸に多く形成されると報告されていますが、詳しいことは分かっていません。これは、小腸出血に関する知見が限られており、また胃カメラ検査や大腸カメラ検査では小腸の病変を把握できないことが原因と考えています。本研究ではこれらの点に着目し、当院で小腸カプセル内視鏡検査を受けられた患者さんの、小腸カプセル内視鏡検査、胃カメラ検査、大腸カメラ検査の結果、また血液検査等を後ろ向きに解析し、当院における消化管粘膜血管異形成の病態を明らかにすることを目的としました。

2 研究の方法

(1) 研究機関

医学倫理審査委員会承認後から2022年12月31日までの期間

(2) 対象となる方について

2010年4月1日から2021年3月31日の期間に当院にて小腸カプセル内視鏡検査を受けられた患者さん。

(3) 研究に用いる情報について

病歴、内服薬の種類、血液検査結果、心機能に関する検査・治療結果、内視鏡所見、内視鏡治療所見

3 研究に関する情報公開について

患者さんの検査結果、測定結果、カルテ情報をこの研究に使用する際は、氏名、生年月日などの患者さんを直ちに特定できる情報は削除し研究用の番号を付けて取り扱います。

この研究の結果は、あなたの氏名などあなたを直ちに特定できる情報を削除して、学会や医学の論文などで発表される予定です。

なお、この研究で得られた情報は研究責任者(京都府立医科大学 消化器内科学教室 伊藤 義人)の責任の下、厳重な管理を行い、患者さんの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

研究組織

研究責任者 京都府立医科大学 消化器内科学教室 伊藤 義人

研究担当者：京都府立医科大学 消化器内科学 准教授 小西英幸

京都府立医科大学 消化器内科学 准教授 保田宏明

京都府立医科大学 医療フロンティア展開学 准教授 高木智久

京都府立医科大学 消化器内科学 講師 石川 剛

京都府立医科大学 循環器内科学 講師 全完

京都府立医科大学 消化器内科学 講師 内山和彦

京都府立医科大学	消化器内科学	講師	吉田直久
京都府立医科大学	消化器内科学	学内講師	土肥 統
京都府立医科大学	消化器内科学	助教	井上 健
京都府立医科大学	消化器内科学	助教	土井俊文
京都府立医科大学	消化器内科学	大学院生	杉野敏志
京都府立医科大学	消化器内科学	大学院生	小林玲央
京都府立医科大学	循環器内科学	大学院生	彌重匡輝

共同研究機関（多施設共同研究）

京都九条病院	消化器内科	光藤章二
市立福知山市民病院	消化器内科	奥田隆史
市立福知山市民病院	消化器内科	辻 俊文

患者さんのご希望があれば参加して下さった方々の個人情報保護や、研究の独創性の確保に支障が生じない範囲内で、研究計画及び実施方法についての資料を入手又は閲覧することができますので、希望される場合はお申し出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、2021年9月30日まで下記連絡先までお申出ください。

お問い合わせ先

京都府立医科大学消化器内科

職・氏名 助教・井上 健（いのうえ けん） 電話:075-251-5519 平日 9時—17時